

生残りかけ海外か国内かの選択必要

新年賀詞交歓会及び講演会

講演会では、治療薬の使い方等学ぶ



講師の木村和哲氏

平成23年新年賀詞交歓会及び講演会は、1月14日午後3時30分から名古屋国際ホテルにおいて開催された。

第一部講演会は、名古屋市立大学病院薬剤部長木村和哲氏を講師に迎え、演題「日常治療薬の正しい知識と使い方」を聴講した。

飲み薬と言うと「散剤（粉薬）、錠剤」などがお馴染みであるが、薬の剤形には「点鼻薬」「点眼薬」「貼り薬」「塗り薬」「注射剤」「坐薬」などがあり、現在も今までと違った視点で、新たな剤形の開発がすすめられている。

木村講師は、20年間の現場での経験を生かし、上記薬の剤形、薬の服用方法、服用時間、薬の相互作用、高齢者と薬、ジェネリック薬品、セルフメディケーションなどについて話した。

薬が効く4つのキーワードは、①吸収②分布③代謝④排泄とされており、吸収されるのは小腸である。服用方法と時間については、剤形と

効き方による場合が多い。

相互作用と言うのは、2種類以上の薬を同時に使用した場合に、影響し合って効き目に変化すること。薬どうしだけでなく、食べ物との場合もある。

高齢になると、薬の体内濃度が高くなりがちなので、医師による処方箋は症状も加味して加減がされるが、一般医薬品の場合は15歳以上は大人の用量でひとつになっているので、注意が必要である。

最近よく耳にするようになった「ジェネリック医薬品」だが、これは後発医薬品のことで、新薬の特許が切れたあと、同じ成分、同じ効き目で製造・販売されるので、多少安価に手に入れることができる。

今後進むとされるのが、オーダーメイド医療である。これは、遺伝子によって薬の吸収状態が判明できるので、有効な薬を選択でき、副作用



第一部講演会



新年賀詞交歓会

用を抑えられる。

このような内容についてレジュメをもとに話しは進められ、このほかインターネットによる医薬品の購入の注意点などについても、具体例が示され聴講者の関心がより高められた。

第2部新年賀詞交歓会 なごやかに懇親深める



挨拶する後藤会長

新年賀詞交歓会は、午後5時15分から鈴木総務委員長の司会により進行され、横山副会長の開会の挨拶に続いて、後藤会長が挨拶に立った。

後藤会長は、はじめに昨年11月19日に東京で行われた、ナフサ課税の反対集会へ出席した事を報告。30団体から500名が参加したもので、課税による国際競争力の低下を阻止することを掲げた。今年度については回避された朗報が改めて行われ、その成果が讃えられた。

また、後藤会長は今年は干支にあやかって飛

躍できる年とし、健康で覚悟さえあれば、2段、3段とステップアップできると信じていると強調した。覚悟については、企業の生き残りをかけ今後国内にとどまるか、海外へ出て行くかこの二者選択に迫られる傾向が強まる事を付け加えた。

次いで、来賓が紹介されその中で、寺西學愛知県議会議員、林祐一中部経済産業局産業部次長、高須恭夫愛知県産業労働部地域産業課課長ら3氏が祝辞を行った。

次に昨年秋の叙勲で「旭日小綬章」を受章した当協会元会長服部和彦氏（和泉化成）の受章が披露され、服部氏は「当協会の組織力、会員皆様のご支援のお陰で受章に至った」と御礼の言葉を述べた。乾杯は下山浩司名古屋市市民経済局産業部産業経済課課長が音頭を取り祝宴に入った。

ステージでは会員らで構成するバンド「アロハスターズ」の演奏等も行われ、抽選会も楽しく進められ、愛知県プラスチック成形工業組合児玉理事長の中締めでお開きとなった。



アロハスターズの演奏

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料

睦物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号

TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪 営業所：静岡

ISONO いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012

TEL (052) 931-1211(代)

FAX (052) 930-1975

後期技能検定を実施

プラスチック成形・ブロー成形の実技試験が、1月24日から7日間の日程で名古屋市工業研究所の中間実験工場で開催され、1級は2名、2級は12名が挑戦した。全員直前講習会を受講したが約40%が失格となった。試験を終わって、各受検者個々の技能に大きな差があるように感じられた。また、2月4日には検定委員等12名が出席して採点会議を行い、製品の評価を行い合否を決定した。今年は概ね良い製品が多かったが、編肉の不良で減点対象になった製品が目についた。

射出成形3級実技試験は、南区の検定会場で12月13・14日に講習会、16・17日に実技試験が実施され17名が受検した。

学科講習会は、名古屋市工業研究所で1月12日に射出成形3級、ブロー成形1・2級を開催した。本試験は2月6日に実施。



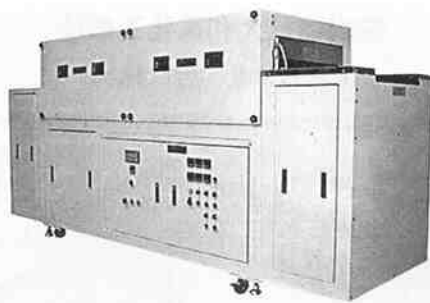
3級実技試験



ブロー実技試験

ノリタケ(ヒートテクノ事業部)を訪問

技術委員会が工場見学会



遠赤外線アニール炉

12月17日(金)、技術委員会の主催で工場見学会が開催され、後藤会長はじめ8名が参加した。

ノリタケカンパニーリミテッド ヒートテクノ事業部では、遠赤外線ヒーターの放射熱を有効利用した「遠赤外線アニール炉」を事業として展開し、樹脂成形品のアニール処理を連続処理できるシステムを構築した。

最初にエンジニアリング事業部伊藤さんの概略をパワーポイントにて説明を受けた。説明によると、遠赤外線は輻射による加熱を起こし、セラミックや樹脂に対し放射効率が有効で、特に樹脂は遠赤外線からのアニール処理により「ひずみ」を解消できる、という。今回見学の「遠赤外線アニール炉」は、処理時間が従来のバッチ炉 1~2時間に対してわずか3~5分と大幅に短縮される。またコンベア式による連続処理をおこない寸法精度も $\pm 2/100\text{mm}$ と安定している。製品例としては自動車部品のランプ、ドアノブをはじめ、携帯電話のボディ部分、電子精密部品、医療精密機器にわたっている。

概略説明のあと工場アニール炉のテスト機を見学した。テスト機ではダウンプロー方式という、遠赤外線のなか上面から温風を吹き込みアニール処理をするしくみを見学した。処理炉の中にある、熱が発生するヒートプレートや標準ベースを手にとり、参加メンバーからは多くの質問が出され、質疑応答が盛況のなか見学会を終えた。

スケッチ

『厳しい環境にも耐えうる 企業体質づくり』

株式会社大和電化工業所

代表取締役 鈴木邦男



東浦成形工場

大和電化工業所（本社：大府市桃山町2-158）は、来年創業50周年を迎える。昭和37年名古屋市中区富士見町で、電気めっきの専門メーカーとして名古屋工場を新設した。

現在、名古屋工場は閉鎖し、大府市に大府工場と横根工場、知多郡東浦町藤江の工業団地に成形工場とめっき工場の4工場を操業している。

顧客は自動車部品関連が主で、電子関連、遊戯関連など約70社ほど。

めっきは金・銀・錫・銅・亜鉛・ニッケル・クロムなどの多様なめっきに対応している。

成形は自動車シートベルト部品を外製依頼していたが、昭和55年に横型成形機2台を大府工場に導入し、インサート成形を開始した。成形からめっき迄の一貫生産が社内のできるのが狙い。また横根工場にプラめっきを導入し、エン

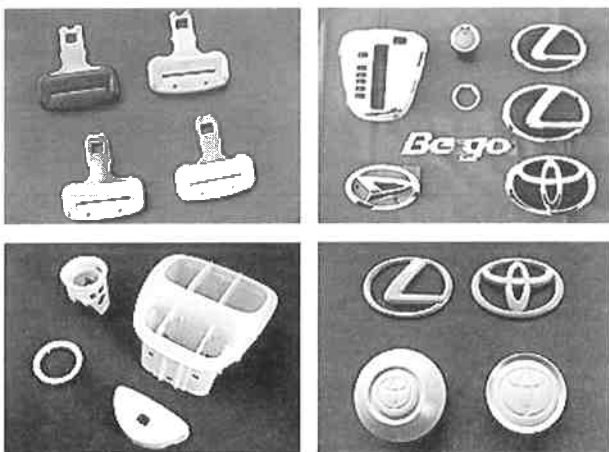
ブレムなどのオーナメント部品を一貫生産している。

シートベルト部品の成形は、品質・価格など顧客要求に対応するため、ロボットシステムを導入し、縦型成形機6台で月間150万個生産している。

また同社はPM賞、品質ISO、環境ISOにもいち早く挑戦し、取得してきた。それは時代の要求、お客様の要求もさることながら、弊社の体質強化の一環として全社員参加活動で進めてきました。

QCサークル活動も33年間継続中で、環境、品質、安全、生産など全員参加によりさまざまなテーマで討議され、年2回の発表会も開催されている。

今後も『ものづくり』企業として人材育成教育、現場を強くするためのTPS活動・工程内不良低減活動を積極的に推進していくことで、如何なる時代、環境にも耐えていくよう努力していく方針である。



BLOW MOLDING
ゴトープラスチック株式会社

取締役会長 後藤 壽夫

〒452-0838 名古屋市西区長先町59番地
TEL (052) 502-7671
FAX (052) 502-6451
Mail: t.goto@goto-plastic.co.jp

株式会社 三幸商会

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075
TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

Sanko Shokai Co., Ltd

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan
TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

連合会新年賀詞交歓会

1月26日午後5時より東京の八重洲富士屋ホテルにおいて、全日本プラスチック製品工業連合会平成23年新年賀詞交歓会が、関係官公庁、業界関係団体、報道関係そして各地区協会会員など総勢70余名の参加を得て盛大に開催された。当協会からは9名が参加した。

最初に五十嵐会長から、昨年の日本は大きな問題、異変が多く起きた。今年は兎年、日本経済も元気よく飛び跳ねたいと挨拶があった。続いて来賓を代表して経済産業省坂口化学課長より、新年のご挨拶と来年度の中小企業施策に対する意欲的な方針が述べられた。

続いて、昨年秋の叙勲で旭日小綬章を受章した服部名誉会長に記念品が贈呈された。その後祝宴に移り、原副会長の乾杯で開宴となった。

最後に斉藤副会長の三本締めで閉会となった。

新年賀詞交歓会に先立ち3時から理事会、勉強会を開催し、石油化学工業協会高梨専務理事を講師に迎え、「ナフサ課税問題」について今までの経緯や課題など詳しく聴いた。



挨拶する五十嵐会長

中部日本プラスチック職業訓練校

向上訓練（通信制）のスクーリングが、1月29・30日と2月5・6日の4日間「愛知県職業訓練会館」で実施され、1級16名、2級29名が午前9時30分から午後4時30分まで講師から直接指導を受けた。最終日の午後には修了試験が行われ、後日採点会議を開き、合否が決定した。



講師によるスクーリングでの指導

平成23年度訓練生募集中

〈成形技能者養成プロジェクト〉

平成23年度の訓練生を現在募集中ですが、皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

【訓練の種類】

1. 向上訓練（通信制）〈1級・2級技能士課程〉
▽特典＝技能検定学科試験免除。
2. 養成訓練（通学制）〈普通課程〉
▽特典＝技能検定学科試験2級免除、技能検定受検資格の実務経験の短縮。

【問合せ先】

中部日本プラスチック職業訓練校事務局
TEL〈052〉654-8155 FAX〈052〉654-8140

取出用ロボット・FAシステムの総合開発



株式会社スター精機
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

TEL 0587 (95) 7557 FAX 0587 (96) 1291

浜松営業所 TEL 053 (432) 6131 富山出張所 TEL 076 (492) 3260
静岡出張所 TEL 054 (289) 2241

本社・工場 / 〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 TEL0587 (95) 7551 (代)
出雲工場 / 〒699-0631 島根県簸川郡斐川町大字直江町3538 TEL0853 (72) 4311

<http://www.starseiki.com>

技術とハートがスパークする
ドラマチック創造企業

プラスチック、セラミックス、MIM金型



株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市緑区鳴海町下汐田177番地

TEL052-621-5238 FAX052-621-3501

職業訓練校見学レポート

中部日本プラスチック職業訓練校では、昨年12月3日に「三菱重工プラスチックテクノロジー」を見学した。提出されたレポートの一部を紹介する。

【鈴木化学工業所：Y.M】

三菱プラスチックテクノロジー株式会社を訪問しました。ここでは、350t～850tクラスの射出成形機を作っており、シリンダーやスクリーンも全て社内で製作していました。スクリーンを作るのに300～400mmの太さの鉄の丸棒をゆっくり削って形にしていき、最終的に5,60φのスクリーンになるとの説明でした。

小型機も扱っているとの事でしたが、それはファナックとの共同開発品に成るらしく、同工場で見るとはできませんでした。

【山宗：T.U】

今回は三菱重工プラスチックテクノロジー(株)へ見学に行きました。始めに会議室で同社の概要等を聞き、その後工場を見学し、最後に会議室に戻って質疑応答を行いました。

重工という名前の通り、同社では大型の成形機を主に製造しているということで、一番大きいものでは3,500tという超大型の成形機もあるそうです。私の所属する会社で使用している一番大きい成形機が1,500tで、それでもかなり大きいですから、個人的にとっても衝撃を受けました。大型であり、世界最速の電動機を扱っているということで生産効率も良い成形機を製造しており、日本だけでなく、海外にも営業拠点があり、世界各国に展開を行っているそうです。日本の技術を世界に広める立役者にもなってい

る印象を受けました。

工場内を案内して頂きました。工場の敷地面積は広大で、大型の成形機を製造しているだけあって、一つ一つの作業区画が大きい印象を受けました。今まで射出成形機に携わってききましたが、射出成形機そのものが、製造される過程を見るのは初めてで、普段見られない箇所を見ることができました。部品1つにとっても大きいので、クレーンで持ち上げて組み込んでいるのが印象的でした。今後も、射出成形機の発展のためによりよいものを作って頂きたいと思いました。

普段、工場で射出成形機を扱っている現場の方のお話は聞く機会が多いのですが、逆に射出成形機を製造している方のお話を聞くのは初めてで、違った角度からお話を聞くことができたので、とても勉強になりました。こちらの質問にも丁寧に答えて下さいました。

私の会社では3,000tもの大きさの成形機を扱ってはいませんが、それぐらい、大きな成形機を使わなければならないような仕事をとっていただけると感じました。今回もこのような貴重な機会を得る事ができて、誠にありがとうございました。



三菱プラスチックテクノロジーを訪問

生涯
設計

それぞれの生き方に、
いつもベストな備え方。

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

第一生命保険株式会社

ホームページ

<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>



プラスチック用産業合理化機器メーカー

NAKAMURA

中村科学工業株式会社

本社工場 Head office & Factory

〒444-0951 愛知県岡崎市北野町字高塚101
TEL(0564)31-2919
FAX(0564)31-9435

東京支店 Tokyo branch

〒192-0054 東京都八王子市小栗町8-37
TEL(0426)20-5466
FAX(0426)20-5461

URL <http://www.nakamurakagaku.co.jp/>

【西浦化学：K.T】

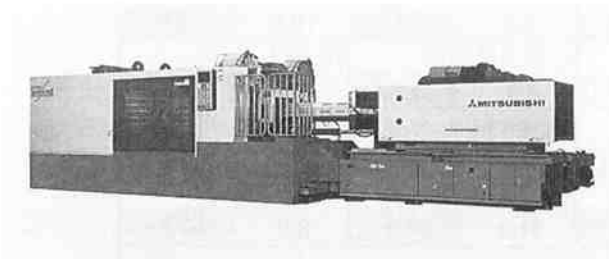
先日、三菱重工プラスチックテクノロジー株式会社を訪問し、射出成形機を製作し、組付けしている工場を見学しました。

弊社には、射出成形機が7tから360tまであり、最大の360tではかなり大きいイメージがありましたが、三菱重工プラスチックテクノロジー株式会社で見た成形機は、それよりも全然大きく、最大で4,000tまであるとの事なので、また驚きでした。

大型の成形機を多く生産しているとの事で、その生産量から工場の敷地面積も同様に広いものでした。敷地内には、成形トライが出来るサービステクニカルセンターがあったり、射出成形機を初めて取り扱う人が様々なカリキュラムを通じて、射出成形機の基盤となる知識と技術を養うことができるスクーリングサービスがあったりと支援サービスにも好感がもてました。

また今回の見学では見る事が出来ませんでしたが、アクティブ温調システムを使用すると、弊社の製品がどれほど変わるのか一度試してみたいと思いました。

今回の見学により、貴重な体験をする事ができ、ありがとうございました。



工場内で見学した「大型電動射出成形機」

伊藤義信氏(伊藤プラスチック研究所)が優勝

プラス会 第247回例会

第247回例会

開催日 12月7日(火)

場所 桑名カントリー倶楽部

スタート 午前8時07分

参加者 24名

天候 晴れ

気温 13.6℃

優勝 伊藤義信氏(伊藤プラスチック研究所)
午後6時より千とせ家で懇親会を開催し、16名が参加した。



優勝した伊藤義信氏(右)

平成22年12月7日「桑名カントリー倶楽部」

順位	会社名	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
1位	伊藤プラスチック研究所	伊藤 義信	51	49	100	27	73
2位	千代田合成	伊勢村昌吾	52	47	99	22	77
3位	松栄工業所	大森 文男	50	57	107	28	79
4位	松井製作所	花岡 一成	44	46	90	11	79
5位	オプコ	尾崎 浩一	44	43	87	8	79

中央三井信託銀行

名古屋支店 TEL.052-242-7311
〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号栄ガスビル

DJK 第一実業株式会社

本社 東京都千代田区二番町11-19 〒102-0084 ☎ダイヤルイン・東京(03) 5214-8500
大阪支店 大阪市北区天満5丁目14番10号(梅田UNビル) 〒530-0047 ☎ダイヤルイン・大阪(06) 366-2800(受付案内台)
札幌支店 札幌市中央区南一条西3丁目8番地(礼石ビル) 〒060-0061 ☎(011)241-2435(代表)
名古屋支店 名古屋市中区錦2丁目3番4号(名古屋錦フロントタワー) 〒460-0003 ☎(052)201-5471(代表)
広島支店 広島市中区中町8番12号(広島グリーンビル) 〒730-0037 ☎(082)248-0295(代表)
営業所 仙台・静岡・四国・福岡
出張所 滋賀・北関東

《平成22年10～12月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 261 社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	87 社	神奈川県	22 社	中部日本	47 社	西日本	136 社
-----	------	------	------	------	------	-----	-------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	36 社	包装用容器・キャップ	48 社	電気・電子・通信部品	70 社
自動車・輸送機器部品	82 社	住宅関連	10 社	医療機器	4 社
その他	41 社				

3. 従業員数の内訳

20人未満	63 社	21～50人	96 社	51～100人	51 社	101～300人	53 社	301人以上	22 社
-------	------	--------	------	---------	------	----------	------	--------	------

4. 今期(平成22年10～12月)の自社業況について<右の数字は前回の結果です>

	前期(平成22年7～9月)比						前年同期(平成21年10～12月)比					
	1. 増加		2. 横這		3. 減少		1. 増加		2. 横這		3. 減少	
①生産・売上高	27.2	34.6	37.2	34.9	34.9	29.5	37.2	43.8	28.4	26.7	33.0	28.4
②製品単価	1.1	3.8	74.7	75.0	23.0	20.5	3.4	5.8	64.8	58.2	29.9	34.2
③採算	15.3	14.0	50.6	54.5	32.6	29.5	23.0	26.4	42.9	42.8	31.4	29.5
④所定外労働時間	17.2	27.4	55.9	53.8	26.1	17.8	21.1	35.3	48.3	45.2	28.0	17.8
⑤製品在庫	17.6	12.3	57.5	61.6	24.1	24.7	18.4	22.6	52.5	54.1	26.4	21.6
⑥樹脂原料単価	31.8	31.5	62.1	64.7	5.0	2.7	44.1	45.2	49.8	49.7	3.8	3.8
⑦総合判断	13.8	17.5	52.9	54.5	31.0	27.1	21.1	29.8	42.9	37.7	32.2	31.2
⑧来期の見通し (23/1～3の見通し)	14.2	14.0	46.0	46.6	35.6	34.9	18.8	18.2	41.0	44.2	33.0	32.2

5. 当面の経営上の問題点(%)<右の数字は前回の結果です>

1. 売上不振	54.8	44.9	2. 輸出不振	1.9	4.1	3. 製品単価安	46.4	43.2	4. 取引条件悪化	7.7	5.1	5. 過当競争	19.5	18.5
6. 輸入品との競合	10.7	10.3	7. 流通経費増大	5.0	6.2	8. 原材料高	41.8	28.1	9. 借入負担増	6.5	9.2	10. 貸し渋り	1.9	3.8
11. 人件費高	12.3	13.0	12. 技能者不足	19.5	20.2	13. 技術力不足	13.4	13.7	14. マーケティング力不足	9.6	6.8	15. 設備過剰	3.8	4.8
16. 法的規制	2.7	1.0	17. 為替問題	9.6	10.3	18. 環境問題	1.9	4.1	19. 人材育成	31.0	26.7	20. 研究開発	8.0	6.2
21. 事業承継	7.3	4.8	22. その他	2.7	2.7	→ 商品の模倣、円高による得意先の海外生産移管増、在庫圧縮、新規品・新企画少ない、客先の海外シフトによる売上減、設備の老朽化、設備(社内)不足								

PLASTICS WORLD
YAMASO
山宗株式会社

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825
TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138
東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海

営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京
茨城・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜

射出成形を
トータルサポート

NISSEI 射出成形機・金型・複合材料・成形支援システム
日精樹脂工業株式会社
http://www.nisseijushi.co.jp

■東海営業所/〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 TEL(0568)75-9555代
■岡崎出張所/TEL(0564)52-1430

■本社・工場/〒389-0693長野県埴科郡坂城町南条2110 TEL(0268)81-1050

6. 皆様のご意見、ご要望

- 仕事が安定的に中小企業へ回るように、又単価面で赤字を余儀なくされるような受注状況をなくして欲しい。
- 業界を取り巻く環境は厳しい状況だが、前年業績が悪すぎたため、今年は売上 20%増、営業利益 5%を達成。社員が将来に希望が持てる会社経営を目指したい。
- 2011年4月以降、上向くとの情報があるが。
- 通算、営業利益を目指す。
- 自社商品開発。
- 国内の人口減少及び海外の生産能力向上による受注の減少に対応するため、今までの経営体制の全てを根本から見直す経営革新を進める。
- デフレ、海外生産シフト。大変厳しい年となりそうです。
- 国会議員はもう少し景気対策をしっかりとやってもらいたい。大企業は海外に出ることばかりでなく、国のため（中小企業のためにも）社会奉仕や貢献を考えてもらいたい。
- 前半は黒字基調であった。車の補助金、家電のエコポイント。10-12月は政策効果の解消で売上減少。1-3月は売上減の見込み。
- 価格低下で、やってもやっても利益が出ない。日本国内ではもうダメ。
- 公共事業の発注が翌期にずれ込むため今期は低迷。
- 今の得意先を大事にすること。新規先はこの時期、うまくはいかない。
- 人材育成、技術力アップ、設備の充実等を推し進め、日本での生き残りのための準備を整えていく。
- 現地生産等による流通コスト並びにタイムラグを削減しようと海外進出大企業の調達方法に変化が見られる。来年度中には調達ルートも日系中小企業の進出全てでルートが固められるように思われる。
- 今までどおりでは先細り。新しい流れを作る年にしたい。
- 新卒者の採用に向けての準備を始める年。受注はまだ不透明。
- 不況脱出!
- 売上は増加しましたが、あくまでも前年比で絶対的な増大ではなく、まだまだ売上は不振です。新年の見通しは厳しく特に中小企業は厳しい。
- 好転とはしたものの、最低の時との比較であるため、決して良い状況になったわけではない。まだまだ辛抱をと、従業員や協力会社に言うことが辛い!
- 成形業者が年々減少傾向にあると実感する要因として、あらゆる新規取引が増加しているため（成形先が見つからない等）今後も生き残りをかけて激化するとみられる。
- 需要回復にはまだ時間がかかると思われる。効率化を一段と進めて、会社体質の強化をはかっていきたい。
- 15%の売上減で11月を終わり、なかなか難しい23年度となる感じです。
- 中国に新会社を設立するよう日本の企業より依頼あり(大企業の100%小会社があるため)。そこに当社が納入するため。いろいろと悩むこと多し。
- 工業会主導で異業種との交流の場を作ってもらいたい。プラスチック製品を従来の客にのみ売るのは先がないと思います。今までにやったことのないプラスチックと他の業種とのコラボレーションに活路があると考えます。
- 景気の動向は多少良くなって来ているとみるが、当社製品は泡出し容器のためあまり景気に左右されないため今年も好調であると考えられるが、単価の競争は厳しくなるため大変と思われる。
- 注文が減少してきています。